

東日本大震災復興支援

チャリティーコンサート at カワイ表参道



がんばろう日本! つながろう音楽で!
～カワイは「日本の元気」を応援します～

5月24日(火) 12:00~13:30

会場: カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」
入場料: 1,000円
お問合せ先: カワイ表参道 Tel 03-3409-2511

北川 暁子

Akiko Kitagawa



Program

シューベルト = リスト Schubert = Liszt
アヴェ・マリア Ave Maria セレナーデ Ständchen 鱒 Die Forelle 魔王 Erlkönig
クライスラー = ラフマニノフ Kreisler = Rachmaninov
愛の哀しみ Liebesleid 愛の喜び Liebesfreud

Profile

丸山淑子女史、L.コハンスキー教授に師事。'64年にイイノホールで第1回リサイタル。
'67年に武蔵野音楽大学卒業。オーストリア国立ウィーン音楽アカデミー入学。R.ハウザー教授に師事。
'69年にブゾーニ国際コンクール3位。ウィーン音楽アカデミーを全教授一致の最優秀で卒業。
ベーゼンドルファー・コンクール優勝。'70年に第19回ミュンヘン国際コンクール2位(1位なし)。
同年帰国。以後毎年リサイタル。'80年にハンブルクでリサイタル。
'84年に演奏活動20周年記念として、ベートーヴェン ピアノソナタ全32曲の10日間(7夜)連続演奏会。
'89年に千本博愛、北川靖子と「セルヴェ・トリオ」を結成、第1回演奏会。'92年に北川靖子と
第1回「ソナタの夕べ」を開催。'94年に演奏活動30周年記念としてブラームスの夕べ(5夜)を開催。
'95年に平野義子と「ピアノデュオの夕べ」第1回演奏会。'99年に「セルヴェ・トリオ」第10回演奏会。
'01年に9月、ワルシャワのショパンの家とワジェンキ公園でショパンの作品を演奏。
'04年に演奏活動40周年記念としてベートーヴェン連続演奏会を1年間(10夜)にわたり開催。
現在、東京藝術大学音楽学部教授。

迫 昭嘉

Akiyoshi Sako



Program

グリーグ E. Grieg
組曲「ホルベアの時代より」Op.40 Suite "From Holberg's Time" Op.40
ベートーヴェン L.v. Beethoven
ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」 Sonata in C-sharp minor Op.27-2 "Moonlight"

Profile

東京藝術大学でピアノを中山靖子氏に、指揮法を佐藤功太郎氏に師事。
'80年、東京藝術大学大学院でクロイツァー賞を受賞。第35回ジュネーヴ国際コンクール最高位(1位なしの2位)、
東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝。東京藝術大学大学院修了後は、ミュンヘン国立音大マスタークラスで
クラウス・シルデ氏に師事。'83年ハエン国際コンクールで優勝。ピアニストとしては、NHK交響楽団をはじめ
国内の主要なオーケストラや、スロヴァキア・フィル、ブラハ放送交響楽団、ブラハ交響楽団などと協演するほか、
室内楽奏者としても、内外の一流演奏家たちと数多く協演し、いずれも高い評価を得ている。
チェリスト上村昇氏とのデュオではABC国際音楽賞も受賞している。
最近では、神戸と東京で行われた『ベートーヴェン:ピアノソナタ全曲チクルス』が絶賛を博し、神戸公演は
『迫 昭嘉 ベートーヴェン:ピアノソナタ全集』としてCD化されており、名演奏の呼び声が高い。
'99年に九州交響楽団を指揮。また、'00年には東京シティ・フィル定期演奏会に登場し、
ブラームスの交響曲などを指揮して、ピアニスト・室内楽奏者としての豊富な経験に裏づけされた緻密な
音楽作りが大きな話題となった。'02年と'04年には名ソプラノ、ディミトラ・テオドシウ オペラ・アリアコンサートを
指揮して、オペラについての深い造詣と優れた手腕が改めて浮き彫りにされ、注目を集めた。
また最近では、京都市交響楽団、札幌交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、名古屋フィル、神奈川フィルなどの指揮台にも
登場しており、この分野での今後の動向にも注目が集まっている。現在、東京藝術大学助教授、東京音楽大学講師。

東 誠三

Seizo Azuma



Program

モーツァルト W.A. Mozart
ロンド 二長調 K.485 Rondo in D major K.485
ベートーヴェン L.v. Beethoven
ソナタ第23番 へ短調 Op.57 「熱情」 Sonata in F minor Op.57 "Appassionata"

Profile

'62年生まれ。スズキメソッドの片岡ハルコ氏の下でピアノの基礎教育を受けた後、
東京音楽大学付属高校から東京音楽大学へと進む。故・井口愛子をはじめ、野島稔、中島和彦の各氏に師事。
'83年日本音楽コンクール優勝で注目を浴びた後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学し、
J.ルヴィエ、J.C.ペヌティエ氏らに師事。日本国際、モントリオール(カナダ)、カサドシュ(アメリカ)、
ポツォーリ(イタリア)など、数多くの国際コンクールに優勝・入賞し、演奏活動に入る。
これまでに、ヨーロッパ、北米、中国でリサイタル、オーケストラと共演。
'98年には、「ショパン24の前奏曲」の演奏により、第24回ショパン協会賞を受賞。'99年仙台フィル定期演奏会では、
広上淳一(指揮)とラフマニノフの協奏曲第3番を共演し、圧倒的な成功を収めた。
ソロ活動の一方、室内楽にも強い意欲を示し、東京フィルコンサートマスター三浦章広(VI)、
N響主席藤森亮一(Vc)と結成したボアヴェール・トリオでの活動をはじめ多くのトップソリストたちと共演し、
絶妙なコラボレーションを聴かせている。CDは「ベートーヴェン:悲愴&告別ソナタ、
シューベルト:即興曲Op. 90」につづき「ラ・カンパネラ:リスト名曲集」がいずれも
セイコーエプソンから発売されており、各方面より好評を博している。
また、「前橋汀子-ヴァイオリン名曲100選」(ソニーミュージック)をはじめ、共演盤も数多い。
現在は、多忙な演奏活動と共に、東京藝術大学、東京音楽大学、国際スズキメソッド音楽院などで
後進の指導も行っており、将来のピアノ界を担う存在の一人として期待を寄せられている。